

【様式】

平成29年度 学校マネジメントシート

学校名 (伊勢工業高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		・ 地元企業の人材育成を軸に、一人ひとりが望む進路の完全保障を実現する工業高校
(2)	育みたい 児童生徒像	○ 基本的な生活習慣を身につけ、社会常識のある明るく素直な生徒の育成(ひとづくり) ○ 産業界から求められる技術・技能習得の意欲あふれる生徒の育成(ものづくり)
	ありたい 教職員像	○ 学校教育目標の達成に向けて、教職員が教育活動の実践や改善のために、相互に共同し切磋琢磨する関係性(同僚性)を保ちつつ、失敗を恐れずに前向きにチャレンジし続ける教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>〈生徒〉 生徒の進路希望は、就職が8割、進学が2割を希望している。また、部活動への取り組みにおいても意欲的である。</p> <p>〈保護者〉 保護者は、地元企業への就職を希望している。</p> <p>〈地域〉 元気で素直な伊勢工業高校の生徒に期待をしており、地元企業から地域貢献の声をいただいている。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
		<p>〈家庭〉 日常の子どもの様子を知らせてほしい。</p> <p>〈中学校〉 学校の様子、卒業生の近況報告、入試状況を知らせてほしい。</p> <p>〈地域社会〉 地域の活性化のため、地域行事や防災面で施設や生徒の協力をお願いしたい。</p>	<p>〈家庭〉 本校教育方針への理解と協力をお願いしたい。</p> <p>〈中学校〉 継続的な指導が必要な個々の生徒の情報共有をお願いしたい。</p> <p>〈地域社会〉 本校の教育活動を理解し、本校生徒の活躍を見てほしい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○ 出前授業やイベントへの参加は、地域への工業高校のイメージ、専門高校への興味などを喚起し、工業高校に対する理解に大きな役割を果たしている。また、学校の外へ出て、社会と触れあうことによって、生徒のコミュニケーション能力等、社会に出るにあたって必要な力が育まれる。今後も継続し、広報活動につなげてほしい。</p> <p>○ 生徒の進路状況はすばらしいものがある。今後も求人活動や進学指導を計画的に行い、景気に左右されない、社会のニーズに応えることのできる人材育成を行い、希望する進路実現に向け、さらに力を注いでほしい。</p> <p>○ 職員の過重労働、時間管理について、快適な職場作りについての具体的な対策が必要。また、ストレスが多い中、心のケアなど労働安全衛生の向上に努めてもらいたい。</p>	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>〈現状〉在学中に様々な資格取得を目指し、卒業後は地元企業へ就職する生徒が多いことから、生徒・保護者・地域のニーズには合致している。</p> <p>〈課題〉企業が求める人材は、現在より一段高いところ（異世代間でも適応できるコミュニケーション能力、基礎的な学力の確実な習得、より高度な資格取得等）にあり、そのニーズに応えていく必要がある。</p>	

学校 運営等	<p><現状>本校の教育活動を理解してもらうため、小学校への出前授業や地域のイベント等に積極的に参加しており、地域からは一定の評価をいただいている。地域も非常に協力的である。</p> <p><課題>活発な部活動に加え、地域からの期待や要望に応えようとするあまり、土日のイベント参加も多くなり、教職員も子どもたちも疲れてきており健康管理が心配である。参加するイベントの精選・工夫や日常業務の改善による総勤務時間の縮減を積極的に行い、教職員や子どもたちの加重負担を減らしていく必要がある。</p>
-----------	--

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図る。 ・基本的な生活習慣を身につけた、社会常識のある明るく素直な生徒の育成を目指し、身だしなみを整えること・挨拶励行の取り組みをより一層推進する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を高めるため、地域との連携を深める。 ・第1希望の進路が獲得できてこそ、活気ある工業高校が実現できます。基礎学力向上に向けた取り組みの充実と表現力・コミュニケーション能力の育成に取り組む。 ・教職員間の対話の促進と、執務環境の改善や総勤務時間の縮減など職員の労働安全衛生の向上に努める。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教科指導	<p><u>分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図ります。</u></p> <p><u>「高志」ある生徒が、卒業時に取得すべき資格等を明確にして、取得するための体制づくりに取り組み、成果を上げます。</u></p> <p>(1)1年生から計画的、段階的に取得技術の高度化を図るとともに、実用に即した資格取得に重点をおいて、補習授業等も行いながら教育実践に努めます。</p> <p>(2)実習・課題研究や製図の取り組みの中で、技術技能の向上並びに表現能力に長けた生徒の育成を進めます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア)ものづくり大会の参加 ・ものづくり東海大会へ出場</p> <p>(イ)技能検定3級程度の技能練習</p> <p>(ウ)建築設計競技会の参加</p> <p>【成果指標】</p> <p>*資格取得【別表】参照</p> <p>(3)図書館の取組として、生徒の「生きる力」を育むため、各教科・各分掌との連携のもと、生徒の世界を広げる読書案内・学習活動につながる教育支援の充実に努めます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>生徒1人当たり貸出冊数 5冊以上</p>	(年度末および適宜記載)	

<p>生徒指導</p>	<p><u>基本的な生活習慣を身につけた、社会常識のある明るく素直な生徒の育成を目指し、身だしなみを整えること・挨拶励行の取り組みをより一層推進します。</u></p> <p>(1)挨拶の励行や時間の尊重、身だしなみや礼儀作法に気を配り、ルールを遵守するなど、生活規範を身につけた生徒を育てます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア) 全教員による登下校校門指導と校内巡視(毎日)、挨拶の励行 100%</p> <p>(イ) 駅前・町内巡視の実施</p> <p>(ウ) 5分前精神の徹底(時間を守る・遅刻しない)</p> <p>(エ) 授業に集中させるために入室許可証の発行実施</p> <p>(オ) 頭髪服装指導(通年)・身だしなみ講座(4月)の実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>(ア) 挨拶の励行 100%</p> <p>(2)日々の授業や学校行事等、教育実践全般を通じて継続的モラル教育を実践します。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(ア) 遅刻・早退・欠席指導の継続(前年度の 25 %減)</p> <p>(イ) 校則違反等による特別指導件数の減少(10 件以下に減)</p> <p>(3)工業高校生としての連帯感を高め、良好な人間関係の構築に努めます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア) 新入生研修の実施(4月)</p> <p>(イ) 各科や各学年を通じた指導</p> <p>(ウ) 部活動での人間関係の育成</p> <p>(エ) 生徒個別面談(年間2回)や学校生活等に関するアンケート(各学期)の実施などによる、いじめの防止、早期の把握・解消</p> <p>(4)学校の様子を積極的に保護者に発信し、生徒・保護者との意志疎通に努め、生徒指導の意義や目的への理解を高めます。(保護者や学校関係者以外の意見、HR活動や個別懇談の状況把握等の実施)</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア) 保護者会やPTA諸会合での説明</p> <p>(イ) 学年懇談会での話し合い</p> <p>(ウ) 生徒個別面談を年間2回実施、学校生活等に関するアンケートを各学期に実施</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	
-------------	--	---------------------	--

進路指導	<p>第 1 希望の進路が獲得できてこそ、活気ある工業高校が実現できます。基礎学力向上に向けた取り組みの充実と、面接が「自分の人となりの魅力を伝える」場となるよう表現力・コミュニケーション能力の育成に取り組みます。</p> <p>(1)キャリア教育を推進して、生徒・保護者の希望に合った進路実現をめざします。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア) 県内外への企業訪問をさらに拡充し、求人企業数・求人数・内定者数の向上に取り組みます。</p> <p>(イ) 基礎基本の学力向上のための取り組みについて、継続的に実施・協議・検討を行います。</p> <p>(ウ) 表現力・コミュニケーション能力向上のため、全職員及び外部講師を活用し「面接指導」、「みだしなみ講座」等を実施・充実させます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(ア) キャリア教育を推進して、正しい職業観・勤労観を身に付けさせ、主体的に進路選択進路決定できる生徒を育て、生徒のニーズに応じた望ましい就職・進学先の決定につなげます。</p> <p>(イ) 一次試験合格率、就職90%以上・進学100%を目指します。</p>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

【別表】

資格取得 合格者数の 目標値	資格、検定	機械科	電気科	建築科
	危険物取扱者丙種	1年生 40人	1年生 79人	
	危険物乙種4類	2・3年生40人	40人	2・3年生 3人
	ガス溶接技能講習	2年生79人		
	基礎製図検定	2年生・60人		
	機械製図検定	3年生・50人		
	技能検定旋盤（2級/3級）	2級2人・3級5人		
	機械保全技能士（機械検査）3級	5人		
	2級ボイラー技士	10人		
	電気工事士2種		2年生 50人	
	電気工事士1種		2・3年生 10人	
	電気主任技術者3種		3年生 3人	
	第二級陸上特殊無線技士		2・3年 10人	
	第二級海上特殊無線技士		2・3年 10人	
	福祉住環境コーディネーター3級			全学年 5人
	2級建築施工管理技術検定試験			3年生 3人
	カラーコーディネーター3級			全学年 8人
	建築CAD検定2～4級			2・3年生 70人
	レタリング検定3、4級			全学年 40人
	建設業経理事務士4級			2・3年生 10人

(2) 学校運営等

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p><u>教職員間の対話の促進と、執務環境の改善や総勤務時間の縮減など職員の労働安全衛生の向上に努めます。</u></p> <p>(1)教職員が意欲的に業務に取り組み充実感を得ることができるよう、組織の在り方や業務内容の見直し、過重労働の削減などにつながる快適な職場作りに取り組みます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>(ア) 会議時間を短縮し60分以内に終了します。</p> <p>(イ) 定時退校日を月1日設定します。</p> <p>(ウ) 部活動休養日を週1日設定します。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(ア) 放課後に実施し60分以内に終了できなかった会議数 10以内</p> <p>(イ) 定時退校日に定時退校できなかった教職員数 10人以内</p> <p>(ウ) 部活動休養日を設定した部活動数 100%</p> <p>(エ) 職員満足度調査を実施し実態を把握すると共に、働きやすい職場への改善につなげます。</p> <p>(2)分掌、学年団のブロックを活用するなどし、更に対話を促進します。</p> <p>【活動指標】</p> <p>職員室の席配置を学年団のブロックで配置し、日常の対話を促進します。</p>	(年度末および適宜記載)	
地域との連携	<p><u>南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を高めるため、地域との連携を深めます。</u></p> <p>(1)地域関係者(小中学校、学習塾、地元自治会、関係機関)との連携強化に向けて、各種行事やイベントに積極的に参加します。</p> <p>【活動指標】</p> <p>小学校出前授業の実施、学習塾説明会の開催、七夕大そうじへの参加など</p> <p>【成果指標】</p> <p>参加者のアンケート、感想から、南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を確認し、改善につなげます。</p> <p>(2)地元企業との連携強化に向けて、双方向からの情報発信・相互理解を深めるための行事を実施します。</p> <p>【活動指標】</p> <p>地域における就職促進につながるよう、地元企業の高校内企業説明会を実施します。</p> <p>【成果指標】</p> <p>地元企業の実態等の把握を含め、職業意識形成支援につなげます。</p>	(年度末および適宜記載)	

改善課題

(年度末に記載)

5 学校関係者評価

明らかになった
改善課題と次へ
の取組方向

(年度末に記載)

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ
いての改善策

(年度末に記載)

学校運営につ
いての改善策

(年度末に記載)